

第 65 期

平成 29 年度 事業報告書・決算報告書

平成 29 年 4 月 1 日から
平成 30 年 3 月 31 日まで

福島県郡山市駅前一丁目 8 番 16 号

公益財団法人 湯 浅 報 恩 会

第 65 期（平成 29 年度）事業報告書

1. 事業概況

平成 30 年 3 月で東日本大震災から丸 7 年を経過した。震災・原発事故関連の報道は減少し、次第にその記憶も薄れつつあるが、福島県の被災者は今なお約 5 万 3 千人が県内外で避難生活を送っている。平成 29 年度も、福島第一原子力発電所の廃炉作業は計画通りに進捗せず、福島県産の農産物等に関する風評被害も払拭されるには至らなかった。

平成 29 年度は、核・ミサイル開発を進める北朝鮮の動向とこれに対抗した米国の軍事力誇示、中国の海洋進出等により、わが国の周辺は強い緊張状態にあった。平昌オリンピック以降、朝鮮半島をめぐる情勢は急速に融和ムードへと傾き南北首脳会談が実現、米朝首脳会談も予定されるなど非核化への期待が高まっているが、まだまだ紆余曲折があるものと思われる。

平成 29 年度のわが国の景気は、良好な雇用・所得環境を背景に個人消費や設備投資といった内需項目が堅調に推移し、輸出においても復調の兆しが見られた。今後も国内経済は緩やかに回復を続けていくものと見られるが、2 月には米雇用統計に端を発する長期金利の急上昇による株式市場の混乱があり、中東情勢の不安定化による原油価格の高騰や内外の政治的变化の影響によっては失速する懸念も残る。

当法人の医療経営環境としては、平成 29 年度も、28 年 4 月実施の診療報酬改定で厳格化されハードルが上がった、急性期病棟の入院基本料 7:1 における重症度、医療・看護必要度、療養病床における医療区分等への対応を求められる 1 年となった。厳密なベッドコントロールに基づく効率的な病床の運用を意識しながら救急受入件数や手術件数の増加等に努力し一定の成果を得たが、病床稼働率等に課題の残る面があった。

平成 30 年 4 月に実施された診療報酬と介護報酬の同時改定は、医療機関の機能分化と連携、「地域包括ケアシステム」の構築をいっそう加速させるとともに、医療の質向上を図る観点からこれまで以上にアウトカムを重視する内容となっており、さらには、医療・介護分野における「働き方改革」に対応しようとする内容も盛り込まれた。重症度、医療・看護必要度等の基準は細分化されハードルがさらに引き上げられ、人工透析等の分野では診療報酬額が大幅に下げられた。このような流れの中、都道府県における地域医療構想調整会議では今後、行政の主導によって医療圏内の総病床数の収れん・削減へ向けた協議が活発化していくことが予想される。

2. 部門別事業報告

(1) 法人本部

経済情勢の変化等により休止中となっている郡山駅前第二地区市街地再開発事業については、従来からの住宅ディベロッパーとの接触を継続し、一時疎遠となっていた業

者との面談も再開しているが、具体的な進展は見られなかった。

人事関係では、寿泉堂総合病院と寿泉堂クリニックにおける出退勤システム（タイムカード）導入の試行を開始し、就業時間管理の徹底に努めた。

また、人事考課について、部署・チームの目標達成度を重視した人事考課制度への移行を準備中であり、考課者訓練においても、今後 BSC（バランスド・スコアカード）の 4 つの視点から部署目標を設定していく方向性などを示した。

設備投資に関しては、平成 27 年 5 月に着工した寿泉堂香久山病院の病棟新築及び改修等工事は、計画通り平成 28 年 8 月に新病棟が完成・利用開始となり、平成 29 年 7 月には既存部分の改修及び旧病棟の解体工事が完了し、同 8 月末に引き渡しを受けた。その後、登記関係の処理、建設仮勘定からの資産・費用計上に係る会計処理を行った。

また、電気料金について、関連法人を含めて新電力への契約変更を行い、少額ではあるが経費の削減効果を得た。

(2) 寿泉堂総合病院

本年度は、急性期病院として引き続き 7 対 1 入院基本料を維持すべく、新規患者・救急患者の受け入れ強化、病床・手術室の効率的運用等に努め、検討の進む地域医療構想への対応、また期の後半にあつては、次の診療報酬改定での急性期病院の評価体系変更等を想定しての対応等に努めた 1 年であった。

【入院患者数】平均在院日数は前年度と同じ 11.0 日であったが、新入院患者数の増加があつて 607 名・0.7%の微増となった。

【外来患者数】前々年度－4,144 人、前年度－6,822 人と減少してきた患者数は、本年度は 147 名のマイナスにとどまった。地域医療支援病院の要件として推進してきた逆紹介が一定のレベルに達したこと、予約外患者への柔軟な対応を強化したことが要因と考えられる。その結果、初診紹介患者総数も前年度に比しマイナス幅が減少し、初診患者総数についてはプラスに転じた。

【救急搬送件数】総数は 2,772 件で前年度比 296 件の増加となった。ここ数年は 10 件台の増加で推移していたものである。救急搬送患者の入院率は前年度比 2.4%増加して 42.7%となり、結果として新入院患者に占める比率も 2.5%アップの 16.9%となった。急性期病院の生命線と認識して救急患者の積極的受け入れに取り組んできた結果と史料する。

【診療単価】入院単価は、手術件数の増加、新たな施設基準の届け出による DPC 係数のアップ、放射線治療（トモセラピー）において要件を充足したことによる所定点数の確保等により、58,171 円となって前年比 0.4%のプラスとなった。また、外来部門は、眼科における外来手術数の増加等により、13,978 円となり前年を 2.5%上回った。

【医業収支】医業収入は前年比で 100 百万円・1.5%の増収となった。一方で医業費用も、減価償却費が 56 百万円減少したにもかかわらず、薬品費、診療材料費、人件費等の増加があり 108 百万円 1.5%のプラスとなったこともあつて、償却前利益は前年度を 19 百万円下回る 268 百万円にとどまり 6.7%の減益となった。

経営基盤の安定に欠かせない医療の安全については、医療安全室、感染対策室を中心とする委員会や研修の開催、ラウンドの実施、マニュアルの変更・周知等に取り組み、質を担保してきた。また、クリニカルパス、**QI** 活動による医療の標準化、効率化、透明化を推進するとともに、原価計算システムによる経営の可視化、次年度病院事業目標作成に当たり医療 **BSC** (バランスド・スコアカード) を一部導入した。収支の改善を見据え、外部コンサルタントの協力を得て医療材料費節減の取組みに着手した。

経営の質を強化するため、ワンランク上の **JHQC** (日本版医療 **MB** 賞クオリティクラブ) **A/S** クラスの認証取得申請手続きを行った。次年度 5 月の訪問審査を経て、7 月に審査結果が判明する。

医師・看護師をはじめとする人材確保にあつては、産・婦人科、泌尿器科において各 1 名の医師の増員があつたが、外科では 1 名の減員となった。初期研修医については、昨年度に引き続いて定員枠 6 名を充たし、院内の活性化に結び付いている。医師の充実に向け、今後とも継続的に取り組んでいきたい。看護師の確保にあつては、スキルアップ研修やワークライフバランスへの取り組み等が評価され、離職率の低下につながることを期待したい。

(3) 寿泉堂香久山病院

平成 27 年から開始した新病棟建設は順調に進み、平成 28 年 9 月の新病棟への引越しを経て平成 29 年 7 月に工事完了、7 月 21 日にグランドオープンセレモニーを行い、2 年ぶりに病棟運営・診療体制が整えられ、新たなスタートを切る運びとなった。

平成 29 年度の患者数実績は、入院・外来ともに予算をやや下回る結果となった。しかしながら、入院については新病棟効果もあり平成 28 年度の 1 日平均患者数 188.9 名に対し平成 29 年度は 200.4 名で約 10 名の増加が図られている。患者家族、紹介病院等による施設見学により新病院機能が地域に周知され、患者数は増加傾向にある。引き続き病院機能の拡充及び医療の質向上に取り組み、患者数増加に繋げ予算達成を目指したい。

病棟新築に併せて医療機能も充実し、4 月より透析装置・**RO** 水処理装置等の機器類を導入し透析治療を開始、現在週 3 日、透析監視装置 4 台で人工透析を行っている。透析中の患者の診療及び透析機器の管理については寿泉堂クリニック熊川院長をはじめ、泌尿器科の医師や臨床工学技士の協力を得て、安全で円滑な治療が行われている。

また、5 月に新型の 16 列マルチスライス **CT** 装置を導入した。この **CT** は、最新画像処理技術にてクリアな画像を保ちつつ、通常より 75% の被ばくを低減することが可能で、撮影速度も速く、患者への負担が少ない。画像が鮮明なため医師の診断の決定にも役立っている。香久山病院で **CT** 撮影ができるようになったことで、総合病院へ撮影のための移動がなくなり寝たきり患者の負担も軽減されている。

7 月 21 日に執り行われた「グランドオープン」では神事・竣工祝賀会の他、地域住民向けの行事として内覧会やプロの演奏家によるクラシックコンサートを開催した。コンサートには世界的に高い評価を得ている下記 3 人の演奏家を招いた。

チェロ、水谷川優子氏（桐朋学園女子高等学校音楽科卒業、同大学卒業。第6回東京国際室内楽コンクール優勝、イタリア・カラブリア芸術祭コンクール優勝など多数受賞）

ヴァイオリン、瀬崎 明日香氏（東京藝術大学附属音楽高等学校を経て同大学を主席卒業。第5回宝塚バガ音楽コンクール第1位、第64回日本音楽コンクール第1位など多数受賞）

ピアノ、島田 彩乃氏（桐朋女子高等学校音楽家を首席で卒業。ジャン・フランセ国際音楽コンクール第1位をはじめ、国内外数々のコンクールに入賞）

3人による演奏は、会場となった新棟1階エントランスホールに響き渡り、集まった約100名の観客を魅了した。新しい病院機能の披露とともに地域住民への好イメージ浸透を図ることができた。

また平成29年度はISO9001（品質に関する国際標準規格）及びISO14001（環境保全に関する国際標準規格）の2015年版への規格改正に伴い、平成30年に統合版として、より効果的なマネジメントシステムを実践するため、ISO9001及びISO14001のマネジメントマニュアルの統合を指向し院内システムの改善を行った。マネジメントマニュアル等を整備し、平成30年6月の統合審査に臨む。

(4) 寿泉堂クリニック

(透析センター)

年度当初に「汎用超音波画像診断装置」を2台、「皮膚灌流圧測定装置」を1台導入し、人工透析治療において不可欠な血管穿刺の精度向上と安全性・信頼性を確保するとともに、糖尿病性腎症由来の透析患者増加に伴う末梢動脈閉塞性疾患に対する早期発見、早期治療のための迅速なアプローチを行った。これにより患者とスタッフ双方の負担軽減が図れたほか、診療単価の向上にも反映できた。

延べ患者数は21,670名となり前年比で348名・1.6%減少したが、診療単価は1,096円・3.7%上昇し、収入総額は過去最高の670百万円・前年比2.7%の増加を実現した。

(健診センター)

健診システムの全面入替により健診結果の精度向上と予約操作などが軽減され業務効率を高めることができた。また、5年ごとの更新を求められる「人間ドック健診施設機能評価認定」の取得に向け2度目の更新審査を受審し、生活を重視した健康診査と継続的な質改善活動が評価され、更新の認定を受けることができた。

健診受診者数は学生健診者等の減少により前年比814名・4.7%減少したものの、オプション検査の紹介による健診単価アップにより収入総額は4百万円・1.0%の減少にとどまり総額366百万円を確保、昨年に続く過去2番目の高い収入となった。

(クリニック総括)

香久山病院の透析室開設により、グループ三施設それぞれの特色を生かした透析治療を実施できる体制が整った。環境面では3年前から取り組んでいた空調設備の全面更新が今年度で終了した。

寿泉堂クリニック全体の医業収入額は1,040百万円で、前年比1.0%・10百万円の増

収となった。また材料費や設備投資の削減に努めた結果、減価償却前利益は 364 百万円・前年比 6.5%・22 百万円の増益となり、対医業収入利益率は 35.0%を達成することができた。

(5) いずみ訪問看護ステーション

平成 29 年度は、中重度の療養者と終末期ケアに重点を置いた目標を立て、療養者本人と家族、双方が満足した「最期」を迎えられるよう寄り添い、意思決定支援の方法である ACP（アドバンスケアプランニング）を重点的に学び看護展開を図った。また、チーム医療として連携する在宅介護スタッフへの指導や、地域内会議等に積極的に参加し、地域医療に携わる訪問看護師の役割やサービスについて周知を図る活動を行い、当ステーションが在宅での療養において、終末期まで安心して頼れる訪問看護ステーションであると認識されるよう努めた。

年間総訪問件数は 4,215 件で、前年比 172 件の増であった（2 人体制も 1 件と捉える）。内訳は介護保険訪問看護件数がほぼ前年並みの 3,194 件、医療保険訪問看護件数が 1,012 件で前年比 227 件増であった。看護体制強化加算については、要件を全て満たし年間を通し算定することができ、また、在宅療養中の死亡者については、全員にターミナル療養費（医療）及びターミナル加算（介護）を算定することができた。

今年度はサービス開始時に「癌末期」「終末期」の診断を受けている利用者が殆どで、往診可能な在宅医の介入があったため、最期まで本人・家族の望みどおり穏やかに経過したことが特徴的であった。在宅看取りを行った利用者の一時入院がなかったことから、終末期の利用者が在宅での最期を希望する場合、退院時に往診可能な在宅医を紹介することが有効であると考えられる。

非癌状態であっても終末期医療管理のある利用者には「退院直後の頻回な訪問（14 日間の特別指示）」が適応されるため、迅速且つ丁寧に在宅療養環境を整えることができた。昨年度より訪問回数が増加したことには、この要件が大きく影響している。

本年度も引き続き委託委員の活動を行うなかで、行政との「顔の見える関係」が構築され、訪問看護についての相談や依頼を受けることも増えてきており、地域貢献に繋がっている。

平成 30 年度は医療、介護報酬同時改定となり、新たな算定項目が追加されたため、慎重に誤りのない請求と、地域の皆様に信頼され喜ばれるステーションを目指したいと考える。多様なニーズに迅速に対応できるよう、個々のスタッフのレベルアップを図れるよう研鑽に努めていきたい。

(6) 寿泉堂香久山居宅介護支援事業所

特定事業所としての責任と期待に応えるように、法令遵守と適正管理に努め、質の評価と特定事業所集中減算に注意しながら、減算の回避を行うことができた。

ケアプラン作成件数は 1,756 件とやや減少した。医療機関からの退院相談、電話相談の件数は増加しているが、申請しても結果が出るまでに施設入所や入院延期になるケースが多く、また、ターミナル支援については、家族の意向や病院の治療方針が変わった

ことによってホスピス病棟へ転院するなど、ケアプランに繋がらないケースが多かった。さらに、職員の異動に伴う新人ケアマネの育成指導もあったため、新規受け入れは厳しい状況であった。

介護度別では要介護 1 が一番多く全体の 32%、要介護 2 は 30%、要介護 3 は 20%、要介護 4 は 12%、要介護 5 は 6%であった。介護度が高くなるにつれて、入院、入所傾向があり在宅での期間は短くなるが、要介護 3 以上の利用者増を目指していきたい。

認定調査については、郡山市を中心に、南相馬、会津、二本松からの依頼を受けたが、前年比 46%減の 87 件であった。平成 28 年度より介護認定有効期間が 2 年間となったため、平成 29 年度は更新申請数が少なかった。

学生受け入れについては、ポラリス保健看護学院 3 年次 3 クールの受け入れ、また、ケアマネジメントの同行実習、看護協会訪問看護人材育成研修等の受け入れを行った。

平成 28 年度から新カリキュラムとなった介護支援専門員実務研修については 4 名の申し込み依頼があり、その中で他医療機関の職員の申し込みは 3 名であった。当初、研修受入は 2 名を予定していたが、申込者数がそれを上回ったことは、日頃堅実に業務に当たってきた成果と考える。

連携については、平成 28 年度から開始された退院調整ルール策定委員を 29 年度も引き続き任命を受け活動を行ってきたが、各医療機関においても退院調整ルールが周知され、退院時の連携加算を取得するために、早めに連絡が入るようになり、在宅への意識が変わってきたように感じる。

地域ケア会議については、芳賀・小原田地域包括へ 4 回出席、地区内の関連機関との意見交換や事例検討を行うなど、地域のネットワーク構築のための PR 活動も浸透してきている。

次年度も継続して、地域における課題解決に協力していきたい。

(7) 郡山南部地域包括支援センター

担当地区の高齢者数は平成 29 年 1 月 1 日現在で 5,948 人、高齢化率は 23.96%であった。前年比で高齢者数は 92 人増加、高齢化率は 0.16%増加、平成 18 年の開設時と比較すると人口は 1,086 人減少、高齢者数は 1,676 人増加し、高齢化率が 7.63%増加している。

総合相談件数は 5,485 件で前年比 703 件増加した。相談内容から独居や高齢者世帯、認知症高齢者が増加していることを実感しており、老老介護や認知介護世帯も増えている。また、障がい（身体、知的、精神）を抱える家族との同居者も多く、虐待や権利擁護、生活困窮、ゴミ屋敷化などの問題を抱えていることもあり行政や医療機関など含め多機関との連携が必要なことが多かった。また介入が困難なことも多く、支援が長期化することも少なくなかった。

地域包括ケアシステムの構築を目指し、行政や医療、介護、地域の関係機関と連携を図り、認知症施策の推進や地域活動に力を注いだ。町内会や民生委員協議会、社会福祉協議会、老人会等の会議や活動へ参加し、研修会開催や情報交換などを行いながら連携

強化に努めた。また第2層協議体のモデル地区になったこともあり、生活支援コーディネーターをはじめ地域の関係機関と会議を重ね、協議体設置に向けて取り組んだ。

要支援者・事業対象者のケアプラン作成は2,950件で前年比118件増加となり、年々増加する傾向にある。介護予防把握事業による「おたっしや長寿アンケート（旧基本チェックリスト）」未回収者の安否確認は296件中、民生委員等の協力もあり281件の確認ができた。また、町内会、社会福祉協議会、老人会等の地域団体や住民による自主グループからの依頼により、介護予防の普及啓発として予防教室を15回実施した。4回シリーズの介護教室では介護予防と介護者としての知識・技術の習得、地域の協力者としての意識付けなどを行った。認知症サポーター養成講座は3回実施し、86名のサポーターを養成した。

地域ケア会議は個別会議、圏域会議を合計7回実施し、町内会や老人会、社会福祉協議会などの地域団体や医療、介護、行政等と困難ケースの検討や地域課題の検討を実施。個別会議を通して地域の介護支援専門員の支援も継続して行っている。

今年度は終活をテーマに自主研修を行い、いずみ訪問看護ステーションや寿泉堂香久山居宅介護支援事業所とも合同研修会を実施し、スキルアップや交流を図った。

今後も制度改正や困難ケースに対応するためセンター内でスタッフ間の連携を密にし、また、研修や事例検討などにも積極的に取り組み、地域包括ケアの一端を担っていききたい。

3. 収 支 報 告

上に述べてきたような事業経過により、公益財団法人湯浅報恩会の平成29年度医業収入総額は9,960百万円となり、前年度と比較すると220百万円2.3%増加した。これに対し、医業費用総額は10,123百万円で、前年度比252百万円2.6%の増加となった。

部門別事業報告に記載したとおり、寿泉堂綜合病院、寿泉堂香久山病院ともに新規患者の受け入れに努めた結果、予算値には届かなかったものの医業収入が前年度を上回った。寿泉堂クリニックは好調を維持し予算値を達成、過去最高水準の収入を確保した。

一方、法人全体の医業費用の増加額が医業収入の増加額を上回ったのは、材料費、人件費、業務委託費の増によるところが大きい。加えて本年度は、寿泉堂香久山病院の病棟新築工事竣工に伴う建設仮勘定の清算を行ったことにより、経常外に解体撤去工事費等577百万円の費用が発生した。この結果、経常外増減額を合わせた一般正味財産増減額は前期比510百万円減益の733百万円の赤字となり、大幅な減益決算となった。

償却前一般正味財産増減額は、医業収入比0.3%の25百万円となり、わずかながら黒字を確保することができた。

4. 役員会報告

本年度の理事会・評議員会等の開催状況は、次の通りである。

(1) 理事会

① 定 時

開催日 平成 29 年 6 月 9 日

議決事項

- ・ 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告・決算報告について
- ・ 第 2 号議案 会計監査人の報酬について
- ・ 第 3 号議案 理事、監事の任期満了に伴う理事及び監事候補者の選任について
- ・ 第 4 号議案 評議員の任期満了に伴う評議員候補者の選任について
- ・ 第 5 号議案 退任理事及び監事の役員退任慰労金支給について
- ・ 第 6 号議案 定時評議員会の招集について

報告事項

- ・ 寿泉堂香久山病院新病棟建設経過報告について
- ・ 関連施設の現況報告について

② 臨 時（みなし決議）

みなし開催日 平成 29 年 6 月 27 日

みなし議決事項

- ・ 代表理事（理事長）選定について
- ・ 業務執行理事（副理事長）選定について
- ・ 業務執行理事（専務理事）選定について
- ・ 業務執行理事（常務理事）選定について
- ・ 重要な使用人である特別管理職委嘱について
- ・ 会長及び顧問選定について

③ 臨 時（みなし決議）

みなし開催日 平成 29 年 11 月 11 日

みなし議決事項

- ・ 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程変更について
- ・ 経理規程変更について

④ 定 時

開催日 平成 30 年 3 月 27 日

議決事項

- ・ 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画・収支予算案について
- ・ 第 2 号議案 平成 30 年度借入限度額設定について

報告事項

- ・ 平成 29 年度決算見通しについて
- ・ 寿泉堂香久山病院新病棟建設完了報告について

(2) 評 議 員 会

① 定 時

開催日 平成 29 年 6 月 27 日

議決事項

- ・ 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告・決算報告について
監査報告について
- ・ 第 2 号議案 理事、監事の任期満了に伴う理事及び監事の選任について
- ・ 第 3 号議案 評議員の任期満了に伴う評議員の選任について
- ・ 第 4 号議案 退任理事及び監事の役員退任慰労金支給について

報告事項

- ・ 寿泉堂香久山病院新病棟建設経過報告について
- ・ 関連施設の現況報告について

② 臨 時（みなし決議）

みなし開催日 平成 29 年 11 月 11 日

みなし議決事項

- ・ 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程変更について

(3) 業務監査・会計監査に関する会議

① 平成 28 年度第 64 期会計監査人監査報告

開催日 平成 29 年 6 月 6 日

内容 決算報告書に関する監査

② 平成 28 年度第 64 期監事監査

開催日 平成 29 年 6 月 6 日

内容 業務監査及び会計監査

③ 理事者等とのディスカッション

開催日 平成 29 年 8 月 7 日

内容 監査法人による監査計画についての説明

④ 理事者等とのディスカッション

開催日 平成 30 年 3 月 14 日

内容 監査法人による決算に向けての検討事項の把握

(4) その他

常勤理事による財団運営会議を毎月第 1 週に開催した。

5. 診 療 報 告

(1) 平成 29 年度の患者数等は、次の通りである。

(患者数)

	寿泉堂総合病院		寿泉堂香久山病院		寿泉堂クリニック		合 計	
	名	前年比 (%)	名	前年比 (%)	名	前年比 (%)	名	前年比 (%)
外来患者総数	140,413	99.9%	10,969	89.3%	21,928	98.4%	173,310	99.0%
一日平均	476.0	99.9%	37.2	89.4%	70.1	98.5%	583.3	99.0%
新患者数	14,956	101.1%	366	106.7%	200	88.5%	15,522	101.0%
入院患者総数	83,886	100.7%	73,150	106.1%			157,036	103.2%
一日平均	229.8	100.7%	200.4	106.1%			430.2	103.1%
新入院患者数	7,000	100.8%	475	112.0%			7,475	101.4%
退院患者数	7,016	101.5%	469	107.8%			7,485	101.9%
病 床 数	305	100.0%	250	100.0%			555	100.0%

(救急患者数及び救急車による受入件数)

	平成 29 年度	平成 28 年度	増減	前年比
入院	1,492 名	1,545 名	△53 名	96.6%
外来	6,619 名	6,649 名	△30 名	99.5%
救急車搬送件数	2,772 件	2,476 件	296 件	112.0%

(人間ドック及び各種健診受診者数)

健診内容	平成 29 年度	平成 28 年度	前年比
日本病院会指定による二日人間ドック	84 名	95 名	88.4%
日本病院会指定による一日人間ドック	3,560 名	3,625 名	98.2%
全国健康保険協会・生活習慣病予防健診	2,919 名	3,111 名	93.8%
一般事業所健診	7,200 名	7,309 名	98.5%
郡山市住民健診	1,723 名	1,905 名	90.4%
個人健診	285 名	411 名	69.3%
ストレスチェック	968 名	1,105 名	87.6%
計	16,739 名	17,561 名	95.3%

特定保健指導	43 名	33 名	130.3%
保健栄養指導	606 名	592 名	102.4%

(いずみ訪問看護ステーション)

	平成 29 年度	平成 28 年度	前年比
利用者延人数	710 名	688 名	103.2%
訪問延回数	4,215 回	3,979 回	105.9%
新規利用者数	31 名	40 名	77.5%

(寿泉堂香久山居宅介護支援事業所)

	平成 29 年度	平成 28 年度	前年比
ケアプラン作成件数	1,756 件	1,829 件	96.0%
認定調査件数	87 件	161 件	54.0%

(郡山南部指定介護予防支援事業所)

	平成 29 年度	平成 28 年度	前年比
介護予防プラン作成件数	2,950 件	2,832 件	104.2%

(2) 本年度導入した主な医療機器及びその他の機器は、以下の通りである。

(法人事務局)

就業管理システム

(寿泉堂総合病院)

生化学分析装置 2 台

電動油圧手術台

内視鏡システム 2 台

電動チルトテーブル

特殊視力検査装置

耳鼻咽喉科ビデオスコープ

産婦人科用診療ユニット

超音波画像診断装置 3 台

角膜内皮細胞撮影装置

整形外科用術前計画作成システム

分娩監視装置

高周波手術システム

顕微鏡ディスカッション装置

システム乾燥機

(寿泉堂香久山病院)

16 列マルチスライス CT スキャナ

多職種連携ハイブリッドシミュレーター

高周波手術装置

パールエアレーション

医療用画像管理システムサーバ

チルトテーブル

リハビリテーション支援システム

栄養管理システム

(寿泉堂クリニック)

多用途透析装置 4 台

皮膚灌流圧測定装置

穿刺用コンパクト超音波診断装置 2 台

総合健診システム用パソコン 2 台

(いずみ訪問看護ステーション)

訪問看護システム

(寿泉堂香久山居宅介護支援事業所)

訪問用軽自動車 1 台

(郡山南部地域包括支援センター)

介護システム

訪問用軽自動車 1 台

6. 公 益 事 業 報 告

(1) 救急医療活動

- ① 救急医療に対し、郡山地区救急病院協議会、郡山地区第二次病院協議会の運営に協力した。
- ② 救急告示病院として、全日救急患者受け入れに対応した。さらに、郡山地区第二次病院群輪番制により毎週木曜日・金曜日と第 2 日曜日・第 4 日曜日を担当

し、積極的に地域医療に協力した。担当日における時間外の取扱患者数は、次の通りである。

	平成 29 年度	平成 28 年度	増減	前年比
入院（担当日）	1,012 名	968 名	44 名	104.5%
入院（年度内総人数）	1,492 名	1,545 名	△53 名	96.6%
外来（担当日）	5,908 名	5,829 名	79 名	101.4%
外来（年度内総人数）	6,619 名	6,649 名	△30 名	99.5%
救急車搬送件数（担当日）	1,650 件	1,589 件	61 件	103.8%
救急車搬送件数（年度内総件数）	2,772 件	2,476 件	296 件	112.0%

③ 郡山市休日・夜間急病センターの二次病院として、毎週木曜日・金曜日と第 2 日曜日・第 4 日曜日を担当し、病床の確保等を通じ全面的に協力した。

(2) 育英事業

平成 29 年度の奨学生は、次の通りである。

福島県立医科大学看護学部	1 名
東北福祉大学健康科学部保健看護学科	1 名
群馬医療福祉大学看護学科	1 名
国際医療福祉大学保健医療学部看護学科	2 名
千葉科学大学看護学部看護学科	1 名
群馬パース大学保健科学部看護学科	2 名
新潟医療福祉大学健康科学部看護学科	1 名
晃陽看護栄養専門学校	1 名
福島県立総合衛生学院看護学科	1 名
太田看護専門学校	2 名
仁愛看護福祉専門学校	1 名
公立岩瀬病院附属看護学院	2 名
国立病院機構福島附属看護学校	1 名
福島看護専門学校	2 名
郡山看護専門学校	4 名

(3) 公衆衛生協力事業

① 郡山市内小中高等学校 6 校及び婦人会保育所の健康診断、妊婦健診、乳幼児並びに 3 才児健診を実施した。

② 産業医として市内各事業所の産業安全衛生活動を実施した。

・健康診断実施結果による有所見者への保健指導を実施

(6 事業所 従業員総数 1,663 名)

・健康相談・健康セミナーを事業所にて開催 (4 事業所 年間 52 回)

・保健師による健康相談・保健指導を事業所にて開催

(1 事業所 年間 12 回)

- ③ 厚生労働省からの要請による院内感染対策サーベイランス事業に協力した。
- ④ エイズ治療拠点病院として、サーベイランス調査、HIV 感染患者の診療に協力した。
- ⑤ 周産期医療協力病院として、福島県周産期医療システムに協力した。
- ⑥ 出産を控えた患者と家族を対象として、毎週土曜日に「パパママクラス」を開催した。
- ⑦ 献血事業協力のため、福島県赤十字血液センターでの採血協力のほか採血バスへの医師派遣を毎月 1 回ないし 2 回実施した。
- ⑧ 社会福祉法人いずみ福祉会への診療協力を実施した。
- ⑨ 郡山市の委託により地域包括支援センターを運営した。

(郡山南部地域包括支援センター運営実績)

	平成 29 年度	平成 28 年度	前年比
相談業務	5,485 名	4,782 名	114.7%
基本チェックリスト未回収者の実態把握	281 件	269 件	104.5%
介護予防教室	15 回	18 回	83.3%
認知症サポーター養成講座	3 回	4 回	75.0%
事例検討会	1 回	1 回	—
地域ケア会議	7 回	6 回	116.7%

- ⑩ 地域住民を対象とする健康教室等を開催した。

(寿泉堂総合病院)

平成 29 年 5 月 19 日	「看護の日」イベント 血管年齢等の測定及び看護、その他各種相談	221 名参加
11 月 8 日	寿泉堂健康教室 「認知症サポーター養成講座」	20 名参加
9 月 6 日	救急の日イベント AED 講習会、救急蘇生・応急手当（成人及び小児）	7 名参加
平成 30 年 3 月 22 日	寿泉堂健康教室 「リウマチ教室 2018」～最新のリウマチ治療～	31 名参加

(寿泉堂香久山病院)

平成 29 年 6 月 3 日	昭和地区・昭和町集会所にて「いきいきサロン」 健康的な日常生活を過ごすために・富士山の壁紙製作
6 月 17 日	香久池地区・山崎地区公民館にて「いきいきサロン」 健康的な日常生活を過ごすために・富士山の壁紙製作
7 月 15 日	三中地区・七ッ池集会所にて「いきいきサロン」 健康的な日常生活を過ごすために・富士山の壁紙製作
8 月 19 日	家庭医学講座 「笑いヨガ」
10 月 7 日	昭和地区・昭和町集会所にて「いきいきサロン」 ペットボトルで小物入れ製作・嚥下体操
10 月 14 日	小原田地区・小原田集会所にて「いきいきサロン」

	ペットボトルで小物入れ製作・嚥下体操
10月21日	香久池地区・山崎地区公民館にて「いきいきサロン」 ペットボトルで小物入れ製作・嚥下体操
平成30年 2月15日	家庭医学講座 「薬とサプリメントの違いを知る」

(寿泉堂クリニック)

平成29年 11月28日	透析患者勉強会 「透析患者さんのCa・Pの管理について」	38名参加
--------------	---------------------------------	-------

⑪ 地域の医師、医療機関を対象とする医学講座並びに症例懇話会を開催した。

(医学講座)

平成29年 6月28日	第41回寿泉堂病院公開医学講座 演題「異所性脂肪と生活習慣病：日常診療における新しい考え方」 講師 福島県立医科大学医学部糖尿病内分泌代謝内科学講座 主任教授 島袋充生先生
12月4日	第42回寿泉堂病院公開医学講座 演題「出生前診断－生殖医療の進歩とともに－」 講師 福島県立医科大学医学部産婦人科学講座 教授 藤森敬也先生

(症例懇話会)

平成29年 10月18日	歯科口腔外科	・歯肉出血から判明した血液疾患の1例 ・骨化性線維粘性性腫瘍の1例	参加人数 55名
11月9日	産婦人科	・SLE 合併妊娠における周産期予後について ・腹膜下筋膜に切り込まないTLH手技	参加人数 28名
12月12日	寿泉堂忘年懇話会		参加人数 194名

⑫ 地域医療支援病院として、地域医療従事者に向けた研修会を開催した。

(寿泉堂総合病院)

平成29年 10月25日	感染対策委員会研修会 「この冬のインフルエンザにそなえよう＆手洗い」	17名参加
--------------	---------------------------------------	-------

⑬ 地域の健康増進、各種行事等へのスタッフ派遣に協力した。

平成29年 4月8日	ペットカーニバル 救護班（～9日）	看護師2名
4月29日	郡山シティーマラソン 救護班	看護師2名
5月27日	まちなか子ども夢駅伝 救護班	看護師2名
5月27日	新人看護職員研修実地指導者研修（7月6日） 演習指導者	認定看護管理者 1名

6月 1日	バクスターCAPD ナースカレッジ基礎コース 講師	看護師 1名
7月 1日	日本感染管理ベストプラクティス “Saizen”研究会 グループワークアドバイザー (9月3日、12月3日)	感染看護認定看護師 2名
7月 7日	看護職の再就業支援研修 講師	看護師 1名
7月 8日	まちの保健室 (11月22日、3月10日)	保健師 1名
7月 15日	看護師のための緩和ケア研修会フォローアップ 研修会 講師	緩和ケア認定看護師 1名
7月 23日	スーパーゼビオ 3×3Game 救護班 (8月6日)	看護師 2名
8月 4日	郡山うねめ祭り 救護班 (～5日)	看護師 2名
8月 8日	全国高等学校総合体育大会 救護班 (～10日)	看護師 3名
8月 9日	郡山女子大学短期大学音楽科音楽療法士研修 終末期医療概論 講師	緩和ケア認定看護師 1名
8月 12日	紅獅子旗争奪少年野球選手権 救護班 (～14日)	看護師 5名
8月 16日	福島県立総合衛生学院分娩介助学内演習 指導者	助産師 1名
8月 30日	福島県看護協会 看護職のワークライフバランス 推進ワークショップ 講師	看護師 1名
9月 6日	福島県看護協会郡山支部共通研修会「褥瘡」～認 定看護師とともに考えよう～ 講師	皮膚排泄ケア認定看護師 1名
9月 9日	日本オストミー協会 社会適応訓練講習会 講師	皮膚排泄ケア認定看護師 1名
9月 14日	ポラリス保健看護学院 卒業生講演会	看護師 7名
9月 15日	福島県介護予防支援従事者研修 講師	主任ケアマネ 1名
9月 22日	認定看護管理者サードレベル教育課程 統合演 習指導者 (10月4日、25日、11月7日、9日)	認定看護管理者 1名
9月 25日	穴澤病院 院内感染防止対策研修会 講師	感染看護認定看護師 1名
10月 11日	福島県介護支援専門員再研修、更新研修会 講師	主任ケアマネ 1名
10月 27日	看護力向上支援フォローアップ研修会 講師	感染看護認定看護師 1名
10月 28日	看護師のための緩和ケア研修会 講師 (29日、1 月13日、14日)	緩和ケア認定看護師 1名

11月13日	内堀知事を囲む座談会	看護師1名
11月16日	福島県看護協会 ワークライフバランス推進地区 研修会 講師	看護師1名
11月18日	第4回福島県感染看護研究会 講師	感染看護認定看 護師1名
11月28日	メディカルケアサポートセミナー 講師	感染看護認定看 護師1名
12月9日	福島県看護協会 新人助産師交流会 アドバイザー	助産師1名
12月25日	グループホームすぶりんぐ施設研修 講師 「救急車を上手に呼ぶために」	訪問看護師1名
平成30年 1月10日	福島県介護支援専門員実務研修 講師	主任ケアマネ1名
2月1日	スプリングガーデンあさか施設研修 講師 「看取りについて」	緩和ケア認定看 護師1名
2月22日	福島県立総合衛生学院助産学科研究発表会	助産師1名
3月16日	福島県看護協会 進路理解講座 講師	緩和ケア認定看 護師1名
3月22日	郡山医師会 在宅医療・介護連携推進研修会 講師	主任ケアマネ1名

- ⑭ ボランティア育成運営委員会により、ボランティア育成講座及び実習を開催し、ボランティアの積極的な受け入れを行った。

（ボランティア育成運営委員会）

寿泉堂総合病院 11回

寿泉堂香久山病院 10回

（ボランティア育成講座）

寿泉堂総合病院 平成29年6月30日 3名受講

- ⑮ 地域のコミュニティスペースとして、寿泉堂総合病院の会議室を開放した。

平成29年 4月22日	福島県コメディカル対象 Reveal LINQ 研修会 日本メドトロニック(株)
7月21日	第25回郡山血管造影・IVR研究会 郡山血管造影 IVR 研究会代表世話人
8月5日	第10回福島県大腸肛門疾患フォーラム 福島県大腸肛門疾患フォーラム代表世話人
10月7日	第7回ふくしま内視鏡セミナー ふくしま産婦人科内視鏡研究会
11月28日	スポーツ現場における歯科的応急処置 日本体育協会認定スポーツデンティスト

12月2日	福島県Yボード会議 一般社団法人福島県臨床工学技士会
12月16日	第37回福島県放射線治療技術研究会 福島県放射線治療技術研究会代表世話人
平成30年 3月16日	スポーツ現場における歯科の応急処置 日本体育協会認定スポーツデンティスト

(4) 研究研修事業

臨床研修医、医学実習生及びその他の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

① 研究助成・事業援助の状況

(ア) 関連大学へ研究助成	25件	38,700,000円
(イ) 関連各種学会へ事業援助	6件	1,080,000円
(ウ) 地域への事業援助	41件	1,235,400円
(エ) 社会福祉法人いずみ福祉会へ事業援助	1件	12,000,000円

② 臨床研修医の受入状況

(ア) 基幹型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）

マッチングによる2年間の研修（医科） 1年次6名 2年次6名

マッチングによる1年間の研修（歯科） 1名

(イ) 福島県立医科大学附属病院の協力型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）

研修医 2年次2名

研修期間 平成29年10月1日～10月31日

研修科目 糖尿病内科

研修期間 平成29年12月1日～12月31日

研修科目 整形外科

③ 看護学生等の受入状況

	学校名	人数
看護学生	福島県立医科大学看護学部	91名
	福島県立総合衛生学院	20名
	郡山看護専門学校	146名
	ポラリス保健看護学院	14名
	国際医療看護福祉大学校	2名
薬学生	奥羽大学	5名
リハビリテーション科学生	新潟リハビリテーション大学	1名
	つくば国際大学	2名
	仙台青葉学院大学	3名

リハビリテーション科学生	帝京平成大学	1名
	東北福祉大学	2名
	国際医療看護福祉大学校	5名
臨床工学士学生	国際医療看護福祉大学校	2名
栄養士学生	郡山女子大学	6名
	郡山女子大学短期大学	6名
	城西大学	1名
	和洋女子大学	1名
歯科衛生士学生	福島医療専門学校	26名
透析療法従事者研修	日本腎臓財団	1名
介護支援専門員実務研修	福島県社会福祉協議会	4名
社会福祉援助技術実習	東北福祉大	1名
訪問看護・在宅医療人材育成研修	福島県看護協会	2名

④ 看護インターンシップ受入状況

実習内容	人数
福島県立医科大学	2名
東北文化学園大学	2名
仙台青葉学院短期大学	2名
国際医療看護福祉大学	1名
国際医療福祉大学	2名
新潟医療福祉大学	1名
群馬パース大学	1名
名桜大学	1名
公立岩瀬病院附属看護学院	3名
福島病院附属看護学校	7名
ポラリス保健看護学院	9名

⑤ 消防署救急医療実習受入状況

実習内容	人数
郡山地方広域消防組合・救急隊員病院研修	9名

⑥ 一般の実習受入状況

実習内容	人数
高校生一日看護体験	5 名
福島県立郡山商業高等学校高齢者とのふれあい体験学習	280 名
福島県立清陵情報高等学校ジュニアインターンシップ	2 名
福島県立湖南高等学校ジュニアインターンシップ	4 名
福島県立安積高等学校御館校ジュニアインターンシップ	1 名
福島県立あさか開成高等学校ジュニアインターンシップ	1 名
郡山市立郡山第三中学校職場訪問	4 名
郡山市立郡山第四中学校職場訪問	4 名
郡山市立郡山第五中学校職場訪問	5 名
郡山市立郡山第六中学校職場訪問	4 名
郡山市立小原田中学校職場訪問	3 名

⑦ 研究事業

(ア) 学会発表演題数（診療部）	55 題
(イ) 剖検数	2 体
(ウ) 治験薬施用承認件数	6 件

⑧ 研修事業

(ア) 研究研修のための学会等への派遣 (延人数)

	本部	寿泉堂	香久山	クリニック	いずみ訪問	居宅介護
診療部		234 名	16 名	58 名		
看護部	5 名	163 名	107 名	50 名	14 名	4 名
診療支援部		87 名	16 名	29 名		
事務部	6 名	156 名	25 名	12 名		2 名
その他		20 名				
合計	11 名	660 名	164 名	149 名	14 名	6 名

(イ) 教育研修等

(法人)

平成 29 年 6 月 3 日	職員接遇研修会「患者接遇の基本」	99 名参加
11 月 21 日	第 25 回寿泉堂病院学会	145 名参加
11 月 30 日	新入職員フォローアップ研修会	58 名参加
平成 30 年 3 月 14 日	平成 30 年度採用前職員オリエンテーション(～16 日)	61 名参加

（寿泉堂総合病院）

平成 29 年 8 月 7 日	院内輸血研修会（18 日） 「安全な輸血のための勉強会」	75 名参加
9 月 12 日	5S 研修会 「5S 活動の基本について」	105 名参加
12 月 27 日	平成 29 年度クリニカルパス検討会	91 名参加
12 月 11 日	「医療被曝」「MRI 検査におけるチェック事項」についての研修会	83 名参加
12 月 12 日	保険診療に関する研修会 「リハビリと保険診療について」	107 名参加
12 月 27 日	平成 29 年度クリニカルパス検討会	91 名参加
平成 30 年 1 月 16 日	NST 研修会 「NST の活動内容、今年度の活動報告、症例報告」	54 名参加
1 月 31 日	「造影検査・放射線治療について」	56 名参加
2 月 14 日	高齢者医療研修会 「高齢者医療について」	102 名参加
3 月 19 日	保険診療に関する研修会 「DPC 関連事項・保険診療のルール」	172 名参加

（寿泉堂香久山病院）

平成 29 年 4 月 27 日	接遇全職種対象研修	36 名参加
5 月 11 日	抗菌薬について	53 名参加
5 月 18 日	NST 研修会「脂肪乳剤について」	42 名参加
7 月 7 日	ISO 研修会	30 名参加
9 月 22 日	認知症サポーター養成講座（10 月 27 日）	18 名参加
平成 30 年 1 月 25 日	個人情報に関する研修会	37 名参加
2 月 1 日	BLS 研修会（2 日、5 日～9 日、13 日、14 日）	178 名参加
3 月 13 日	院内研究発表会	40 名参加
3 月 16 日	診療報酬研修会	43 名参加

（寿泉堂クリニック）

平成 29 年 5 月 25 日	透析センター講演会 「バスキュラーアクセス～考えて、理解する～」	36 名参加
8 月 31 日	接遇研修会「ロールプレイング」	48 名参加
平成 30 年 1 月 30 日	接遇研修会「明日からできるクレーム対応のヒント」	34 名参加
2 月 27 日	BLS 研修会（3 月 6 日、13 日）	70 名参加

(ウ) 海外研修

アメリカ合衆国（ホノルル地区）病院視察 平成 29 年 6 月 4 日～6 月 9 日 6 日間 派遣人数：3 名 斎藤征江、荒井志津江、宗像由美
オーストラリア（シドニー、ゴールドコースト）病院視察 平成 29 年 6 月 18 日～6 月 23 日 6 日間 派遣人数：3 名 緑川喜雄、田辺 均、鈴木真二

7. 設 備 改 修 工 事 等 報 告

平成 29 年度に実施した工事は、以下の通りである。

(寿泉堂綜合病院)

- ・ガスヒートポンプエアコン室外機交換工事（6 階、7 階、10 階、11 階）
- ・J パーキング 1、2 号機ターンテーブルローラー交換工事

(寿泉堂香久山病院)

- ・旧病棟解体工事
- ・既存棟改修工事

(寿泉堂クリニック)

- ・3 階系統ガスヒートポンプエアコン更新工事

8. 労 使 関 係 報 告

- (1) 平成 29 年 5 月 8 日開催の労使協議会において、平成 29 年度の給与改定及び以下の項目について妥結した。

昇給率 2.11% 昇給額 4,053 円（標準 5 号の定期昇給）

労働条件

- (2) 平成 29 年 5 月 8 日開催の労使協議会において、平成 29 年度の上期賞与の支給率について妥結した。

（基本給+調整手当 4,000 円）×（基準賞与 1.5 ヶ月+業績賞与 0.9 ヶ月）

- (3) 平成 29 年 7 月 1 日から、寿泉堂香久山病院第 2 病棟（回復期リハビリテーション病棟）において夜勤帯の労働環境改善のため介護職 1 名を増員し 3 人夜勤体制とした。

- (4) 平成 29 年 11 月 24 日開催の労使協議会において、平成 29 年度下期賞与の支給率について妥結した。

（基本給+調整手当 4,000 円）×（基準賞与 2.0 ヶ月+業績賞与 0.4 ヶ月）

- (5) 平成 30 年 4 月 1 日からの休日・時間外労働（36 協定）に関する労使協定を行った。

- (6) 労使双方の代表によって構成する「給与委員会」を定例開催した。

9. 庶務事項報告

(1) 平成 30 年 3 月 31 日現在の職員数は次の通りである。(単位：人)

	医師		看護師・准看護師		医療技術員		事務職員		その他		計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
本部			1				11	1			12	1
寿泉堂	61	85	238	24	98	1	79	2	49	1	525	113
香久山	6	12	85	3	40	1	17	1	71	4	219	21
クリニック	4	10	34	4	8	3	13	1	4		63	18
いずみ訪問			5	2							5	2
包括支援			4				1				5	
居宅介護			4				2				6	
計	71	107	371	33	146	5	123	5	124	5	835	155

※休職者除く

(2) 当法人及び寿泉堂松南病院を退職した元職員による寿泉堂病院 OB 会「寿友会」の運営に協力した。

(3) 防火避難訓練を次の通り実施した。

寿泉堂総合病院	平成 29 年	6 月 26 日	(防災訓練)
		10 月 25 日	(総合訓練)
寿泉堂香久山病院	平成 29 年	7 月 20 日	(総合訓練)
		8 月 21 日	(部分訓練)
		11 月 16 日	(総合訓練)
寿泉堂クリニック	平成 29 年	6 月 22 日	(総合訓練)
		8 月 10 日	(透析離脱訓練)
		9 月 1 日	(透析センター 福島県透析連絡会議主催 MCA 無線使用災害時情報伝達訓練参加)
		10 月 31 日	(総合訓練)
		11 月 24 日	(透析センター 福島県透析対策会議主催 災害時情報伝達訓練参加)
	平成 30 年	3 月 9 日	(透析センター 福島県透析対策会議主催 災害時情報伝達訓練参加)
さくら保育園		毎月第 3 木曜日	

(4) 新日本有限責任監査法人による法定監査を受けた。

(5) 従業員の健康確保、労働環境確立と労働能力の高揚を目的に、衛生委員会（昭和 55 年 1 月制定）を 12 回開催した。

(6) 院内感染の予防と拡大防止を目的とした院内感染対策委員会（平成 4 年 4 月制定）を 12 回開催した。

(7) 医療ガス（診療の用に供する酸素、窒素、各種麻酔ガス等）設備の安全管理を図り患者の安全を確保するため、医療ガス安全委員会及び医療ガス設備取扱講習会を次の通り開催した。

(委員会)

寿泉堂総合病院 平成 30 年 3 月 5 日
寿泉堂香久山病院 平成 30 年 3 月 30 日
寿泉堂クリニック 平成 29 年 5 月 8 日

(取扱講習会)

寿泉堂総合病院 平成 29 年 4 月 4 日
寿泉堂香久山病院 平成 29 年 11 月 28 日
寿泉堂クリニック 平成 29 年 6 月 6 日
平成 29 年 12 月 5 日

- (8) 透析機器の安全管理を図り患者の安全を確保するため、透析機器安全委員会を次の通り開催した。

(委員会)

寿泉堂クリニック 平成 29 年 4 月 13 日

(医療機器取扱研修会)

寿泉堂クリニック

平成 29 年 8 月 22 日	積層型透析器について	19 名参加
10 月 31 日	逆止弁付安全針（導入前）について	14 名参加
11 月 28 日	血液透析濾過器について	18 名参加
平成 30 年 1 月 23 日	逆止弁付安全針（導入後）について ①	16 名参加
2 月 22 日	逆止弁付安全針（導入後）について ②	12 名参加

- (9) 医療安全の確保を目的とした医療安全管理委員会、医療安全対策委員会及び職員研修会を以下の通り開催した。

(医療安全管理委員会、医療安全対策委員会)

寿泉堂総合病院 24 回
寿泉堂香久山病院 12 回
寿泉堂クリニック 6 回

(医療安全管理研修会)

平成 29 年 4 月 5 日	平成 29 年度新採用者医療安全研修会（6 日）	79 名参加
6 月 5 日	新採用者薬剤に関する研修会	36 名参加
6 月 13 日	医療安全管理研修会（21 日、26 日） 「事例からの振り返り」	351 名参加
7 月 11 日	新採用者 KYT 研修会（11 月 10 日）	63 名参加
7 月 25 日	輸液・シリンジポンプトラブル回避のポイント	28 名参加
8 月 22 日	麻酔・向精神薬の取扱について	21 名参加
8 月 25 日	医療安全研修会 「医療安全について」	15 名参加

9月20日	医療安全管理研修会（26日、10月2日） 「医療事故調査制度について」	351名参加
10月30日	医療安全管理研修会（11月14日、29日） 「患者・家族とのコミュニケーションについて」	273名参加
11月8日	医療安全研修会「麻薬について」	45名参加 寿泉堂香久山病院
平成30年 1月29日	医療安全管理研修会（2月5日、13日） 「事例からの振り返り」	255名参加
2月22日	看護補助者研修「医療安全について」	31名参加
3月8日	転倒転落について（15日、22日）	187名参加 寿泉堂香久山病院

（感染対策研修会）

平成29年 6月8日	手指衛生について（15日）	205名参加 寿泉堂香久山病院
6月13日	環境等感染リスク	233名参加
6月22日	感染防止対策必須研修会 「CVカテーテルドレッシング交換」	71名参加 寿泉堂香久山病院
6月27日	流行性角結膜炎について（29日、7月3日）	385名参加
10月16日	HIV感染症の概要（18日、20日、23日）	379名参加
11月13日	冬場に流行する感染症予防対策研修会（20日、27日）	192参加 寿泉堂香久山病院

(10) 平成29年度の当法人並びに職員に対する外部団体からの表彰は、次の通りである。

平成29年 5月13日	平成29年度福島県看護功労者表彰式 看護団体活動功労賞 先崎千恵子、橋本ゆみ 優良看護師 佐藤弘子、渡部房子、渡部 薫
5月18日	看護職のワークライフバランス推進 カンゴザウルス賞 寿泉堂総合病院
6月15日	福島県病院給食研究会連合会 病院給食の向上発展に寄与 管理栄養士 佐藤諒子 調理師 佐藤 圭
10月18日	平成29年度健康ふくしま21推進県民大会 優良看護師 岡部美智江、牛来ひとみ、斎藤征江
10月19日	平成29年度郡山地区産業安全衛生大会 衛生優良管理者 田辺 均、加藤芳浩 衛生優良従業員 黒沢宏道
11月21日	平成29年度郡山地区公衆衛生大会 優良看護師 古山はつえ、金成秀子、渡部美奈子
平成30年 3月20日	国より紺綬褒章受章 公益財団法人湯浅報恩会 公益のため長年にわたり福島県立医科大学の学術奨励金を助成している功績による。

10. 主 要 記 事

平成 29 年	4 月 1 日	新入職員入社式並びに辞令交付式	
	6 月 10 日	平成 30 年 3 月に卒業する看護学生を対象に「病院説明会」開催	
	7 月 8 日	平成 30 年 3 月に卒業する看護学生を対象に「病院説明会」開催	
	7 月 21 日	寿泉堂香久山病院新病棟竣工式、内覧会及び記念コンサート	
	7 月 28 日	第 21 回夏祭り開催	(寿泉堂香久山病院)
	8 月 2 日	東北厚生局による個別指導	(寿泉堂クリニック)
	8 月 21 日	平成 29 年度永年勤続者表彰式開催	
		40 年勤続表彰	1 名
		30 年勤続表彰	5 名
		20 年勤続表彰	7 名
		10 年勤続表彰	26 名
	8 月 21 日	寿泉堂病院創立 130 周年アニバーサリーパーティー開催	
	10 月 6 日	郡山市保健所による平成 29 年度病院立入検査	(寿泉堂香久山病院)
	10 月 15 日	第 8 回寿泉堂病院ゴルフ大会開催	(寿泉堂総合病院)
	10 月 18 日	郡山市による平成 29 年度認可外保育所施設立入調査	(附属さくら保育園)
	10 月 21 日	第 6 回寿泉堂病院解剖慰霊祭開催	
	11 月 7 日	郡山市保健所による平成 29 年度病院立入検査	(寿泉堂総合病院)
	11 月 24 日	一店逸品巡り見学ツアー参加	(寿泉堂クリニック)
	11 月 28 日	長期透析患者表彰制度創設 受賞者 6 名	(寿泉堂クリニック)
	12 月 13 日	イベント委員会が中心となり、入院患者を対象に吹奏楽演奏会並びにキャンドルサービスを実施	(寿泉堂総合病院)
	12 月 16 日	附属さくら保育園クリスマス会開催	
平成 30 年	2 月 6 日	東北厚生局による歯科臨床研修病院実地調査	(寿泉堂総合病院)
	2 月 8 日	東北厚生局による適時調査	(寿泉堂総合病院)
	2 月 19 日	人間ドック健診施設機能評価訪問審査	(寿泉堂クリニック)
	3 月 5 日	健診センター患者満足度調査(～17 日)	(寿泉堂クリニック)
	3 月 17 日	附属さくら保育園卒園式開催	
	3 月 21 日	平成 30 年度診療報酬改定集団指導	
	3 月 26 日	平成 29 年度医師・歯科医師臨床研修修了式開催	
	3 月 26 日	定年退職者特別表彰式開催	